

第2回障害者計画、障害福祉計画、高齢者保健福祉計画
及び介護保険事業計画策定委員会会議録

1 日 時 平成29年10月27日(金)
13:25～14:45

2 場 所 市役所南庁舎1C

3 出席した委員 13名

委員長	新見医師会	会長	太田 隆正
副委員長	新見公立大学	教授	岡 京子
委員	文教福祉常任委員会	委員長	坂東 義生
委員	介護老人福祉施設哲西荘	管理者	藤村 晃
委員	介護サービス事業者 (GHげんき)	管理者	妹尾 厚子
委員	健康の森学園	教頭	定久 照美
委員	NPO法人ハートフルあしん	理事長	福澤 一義
委員	障害者自立支援協議会	会長	中山 博文
委員	民生委員児童委員協議会	会長	北 卓士
委員	愛育委員会	会長	平田 国子
委員	老人クラブ連合会	会計	松永 静人
委員	備中県民局新見地域保健課	課長	谷口 住子
委員	新見市福祉部	部長	小川 忠義

4 欠席した委員 3名

委員	身体障害者相談員	代表	東郷 豊志
委員	社会福祉協議会	会長	逸見 孝明
委員	P T A連合会	会長	杉 光太郎

5 事務局 9名

福祉部	介護保険課	課長	大田 好江
		課長補佐	長谷川 美幸
		主幹	小林 知江
	福祉課	課長	高瀬 広視
		主幹	難波 俊介
		係長	宮本 昌士
		主任	福田 幸司
	健康づくり課	課長	船越 智江子
	こども課	課長	田中 隆博

※株式会社ぎょうせい ソリューション営業課 専門員 池田 光弘氏が同席

6 内容

(1) 開会

(大田課長) 予定の時刻よりは少々早いですが委員の皆様お揃いですのではじめさせていただきます。

[配布資料の確認]

太田委員長ごあいさつをお願いします。

(2) 委員長あいさつ

(太田委員長) [あいさつ]

(3) 協議事項

(大田課長) 議事の進行を太田委員長よろしくをお願いします。

(太田委員長) それでは事務局から説明をお願いします。

(宮本係長) [資料1に基づいて新見市障がい者計画、第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画の説明]

(太田委員長) 何かご質問、ご意見はありませんか。

(坂東委員) 高齢者福祉計画との文書上の関連で、障害者の計画では「高齢化率は4割に迫る割合となっています」という表現ですが、高齢者福祉計画では「7月現在で40%を超えた」となっています。統一したほうがいいのではないのでしょうか。

(宮本係長) 統一するようにします。

(太田委員長) ほかにご意見はございませんか。それでは次に高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の説明をお願いします。

(小林主幹) [資料3に基づいて第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の説明]

(太田委員長) 何かご質問、ご意見はありませんか。

(坂東委員) 障害者計画のほうに戻りますが、20ページ、施策の方向とはどういう意味ですか。また、ボランティア活動の推進についてはどう考えられていますか。それと、アンケート調査の中で「外出の際に困ること」の項目で外出先の建物の構造、つまりハード的な面についての意見が多いようです。バリアフリー、ユニバーサルデザインについて、計画に盛り込む予定はありますか。

(宮本係長) 18ページの前期計画の基本目標に対する施策の方向と構成は同じで、本計画の基本目標に対する施策の方向を記載しており、よりわかりやすく示したものです。

ボランティアやユニバーサルデザインについては、基本目標が決まった段階で施策の展開の中に今後入れていく予定です。たたき台への項目の追加につきましても可能です。

(太田委員長) これから施策のところに出てくるということですか。

(宮本係長) 各項目のところに出てくるということでございます。

(福澤委員) 障害者計画の8ページの②の「保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置」とはどういうことを指していますか。また、④の「移行率3割以上の就労移行支援事業所：5割以上」という項目が盛り込まれるのですか。

(宮本係長) 精神障害者は入院が長くなる傾向がありますが、病院での治療だけでなく地域に帰って生活できるようにしていこうという趣旨で、生活していくうえでの問題点について保健、医療、福祉の関係者が連携してケアできるように協議の場を設置するという国の方針に基づくものです。

(太田委員長) 方向性としては、在宅の患者について検討する場をつくるということではよろしいか。また、後段については障害者の雇用についてのことだと思っておりますが、説明をお願いします。

(宮本係長) できる限り一般就労につなげていこうということで、B型就労から一般就労への移行が3割以上の就労移行支援事業所を5割以上にしていこうとするのですが、非常に厳しい目標だと思っています。

(太田委員長) なかなか進んでいないけれども取り組んでいかないといけないということでしょう。県の計画の検討が進められているところで、県の計画を見据えながら市は計画を立てていかないといけないということだと思います。

(谷口委員) 介護保険事業計画の12ページで訪問看護が減少しています。訪問看護の役割は大きいと思うのですが、利用が減少している原因は何が考えられますか。

(長谷川補佐) 訪問看護の利用が減っている理由は調査しておりませんのでわかりませんが、訪問看護ステーションの職員との意見交換では、癌で在宅に帰られる人が多いということで、そうした方は医療で訪問看護を利用されていると聞いています。在宅で長期間寝たきりでの利用よりも、癌での利用が多くなっているということもあるのではないのでしょうか。

(坂東委員) 退職した子が親を看る老老介護とか、介護に疲れての殺人や自殺といった介護の問題が全国的に起きています。計画の中で命に関わる問題点が挙げられていないのではないのでしょうか。これからは介護予防が大切で、力を入れていく必要があります。今後の介護予防にどう取り組んでいく考えですか。

(小林主幹) ニーズ調査の結果をお送りしていますが、老老介護や独居高齢者の介護が大変だという問題が見えています。現状を踏まえて今後の施策の展開の中で大きな課題のひとつだととらえています。

(長谷川補佐) 命に関わる問題につきましては、地域包括支援センターで高齢者の権利擁護に関しての会議や研修会を実施しております。また、ケアマネージャーと連携して継続的なバックアップ体制も整えています。

介護予防につきましては、健康づくり課が新たに「運動ふれあい地域づくり支援事業」に取り組んでいます。

(太田委員長) 新見市の包括支援センターには活発にやってもらっています。話し

合いの機会も多くあって、こまめな取り組みをされています。地域包括支援センターが頑張っておられるということを知っていただきたいと思います。

訪問看護の減少は、阿新診療所の先生が倒れたこともあるのかもしれませんが。山本先生も往診されているけれども、なかなか手が回らない状況です。

(北委員) 介護施設に従事する人が少なくなっている。介護職は厳しいという面がありますがどう思われていますか。

(小林主幹) 実態として介護現場の職員は厳しい状況にあります。前回の議会で介護施設に従事者に関する調査をしました。辞められる方はいらっしゃいますが、新たに入られる方もおられますので、運営は成り立っていますが十分ではありません。介護職員の確保策として、介護職を目指す学生に奨学金が出せないか検討しているところです。

(太田委員長) 新見公立大学の学長がかわられて地域福祉学科にも地域枠をつくってもらっています。市では奨学金を検討しています。少しでもこの地域に残ってもらうことを考えていかななくてはなりません。

(岡副委員長) 岡山大学医学部の協力を得て介護職員の研修会を年1回行っています。一般職を退職してこの研修を受講された方がとても勉強になったと言われていました。介護職の方が誇りをもって従事できるよう、みなさんの協力をお願いします。

(中山委員) 人材確保、マンパワーは何らかのかたちで計画に入れていただきたい。人材の確保が一番重要なことです。実習生を受け入れています。新見市外の方がほとんど。フィリピンから来られた4名の方に働いてもらっていますが、3年間で試験に合格したら条件のいいところに移られてしまう。就職フェアに行っても、県南の有名なところ、規模の大きいところを希望されます。特に障害施設は人気がなく人材確保が厳しい状況です。

(藤村委員) 職員を募集してもなかなか応募がありません。特に夜勤職員の確保が難しい。新見公立大学の実習生を受け入れて、オリエンテーションで新見市へ残らないかと誘っても、新見市にはコンビニしかない、家賃は高い、交通の便が悪いと言われ、故郷に帰ってしまいます。声掛けはしても就労には結びつかない状況です。

(妹尾委員) 規模の小さいところはまだまだ人材が不足しています。質の高いサービスを提供したくても難しい状況ですが、現在の職員で頑張っているところです。

(定久委員) 新見市内の生徒はけっこういますが、就職先の確保のため連携しながら、関係が広がっていくような取り組みが必要だと思っています。

(太田委員長) 国の施策は決まっており、融通が利かない面があります。新見市は融通の利く取り組みをしていただきたい。

健康づくり課で介護予防の取り組みをされているということですが、健康増進計画策定においても介護保険課と連携をとって取り組んでいただきたい。

ほかにご意見、ご質問はありませんか。今回は実際の取り組みについての協議になると思います。

(4) その他

(太田委員長) その他、事務局から何かありますか。

(大田課長) 太田委員長には円滑に進行していただきありがとうございました。次回の策定委員会は1月を予定しています。具体的な内容を協議していただく予定です。日程が決まりましたら連絡させていただきます。

(5) 閉会

(岡副委員長) [閉会あいさつ]